

取扱説明書

保管用



屋外用・LEDブラケット (防雨型)

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。

一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取付説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

仕様

品番	光源	使用電圧
YAD-2499	LED 16.3W ×1灯	AC100V±6%

この取付説明書のマークについて

- △ 警告 説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
- △ 注意 説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
- このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
- このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

⚠ 警 告

! LEDを長時間直視すると目を傷めことがあります。
★十分にご注意ください。

🚫 一般屋外用器具（防雨型）です。
★振動や衝撃の多い場所、腐食性のガスの発生する場所、海岸隣接地帯（塩害地域）では使用しないで下さい。

★いずれの場合も器具の転倒、落下、破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

🚫 次のような場所には取り付けないでください。

- 壁面以外の場所
- 補強材のない場所への取付（ボックスに取り付ける場合を除く）
- 石膏ボードなどの弱い建材面への取り付け
- 凹凸がある面には取り付けないでください。
- 雨水が地表面にたまる場所や、雪で器具が埋没する場所への使用
- 防水性が損なわれ、器具の破損による器具漏電、感電事故の原因となります。
- 浴室など湿気の多い場所
- サウナへの使用
- ★器具破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

🚫 取付方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしてがって正しい方向にとりつけてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下による「ケガ」の原因となります。

🚫 濡れた手で作業しないでください。

★感電事故の原因となります。

🚫 ドライバーなどの異物は差し込まないでください。

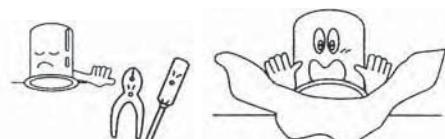
★感電事故の原因となります。

🚫 器具の改造や構成部品に変更、改造はしないでください。

★感電事故の原因となります。

🚫 器具を布などで覆わないでください。

★加熱して、発煙や、発火の原因となります。



⚠ 注 意

! AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。

★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。低い電圧で使用すると、不点灯やチラつきなどの不良点灯や、器具の故障の原因となります。

! この器具は周囲温度5°C~35°Cの中で使用してください。 ! 接地（アース）工事は法規で定められていますので、
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

🚫 ヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。

★カバーの破損、落下の原因になります。

🚫 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くには設置しないでください。

★器具カバーの変形や火災の原因となります。

🚫 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。

★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

🚫 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。

★不良点灯や調光器、照明器具の故障の原因となることがあります。



使用上の注意

△注意

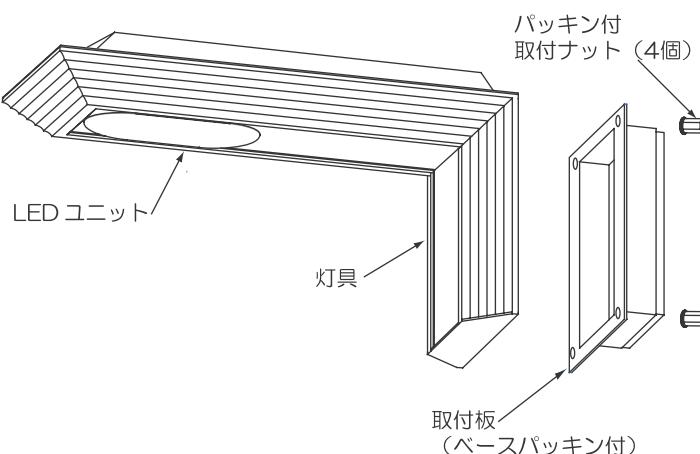
- 照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で8~10年後には外観に異常がなくても内部劣化が進んでおります。
点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度30°C、年間3000時間点灯です。(JIS C8105-1解説による)
- LED光源にはバラつきがある為、同一商品名でも色・明るさが異なる場合がございます。予めご了承ください。
- 他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事があります。予めご了承ください。

各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)

(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

■器具構成図



■付属品

取付説明書(本紙) ······ 1枚
保証とアフターサービス(別紙) ····· 1枚

絶縁ネジ(取付板用) ······ 2本

ボックス取付用化粧板 ······ 1枚

自己融着テープ ······ 2枚

取付け場所の確認

△注意

一般防雨型器具です。浴室などの湿気の多い場所や塩害地域には設置しないでください。

★絶縁不良による漏電、感電事故の原因または、腐食による器具の破損の原因となります。

●取付板は、必ず補強剤のある場所に取り付けてください。

★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。

★コンクリートなど付属の絶縁ネジを直接取り付けられない場合には、金属製木ネジプラグ(カールプラグ等)を別途施工してから取り付けて下さい。

★ボックスに取り付ける場合は、別途ボックス止め用のネジをご用意ください。

●ボルト止めを行う場合

①取付位置に図の用に取付ボルトが施工されていることを確認してください。

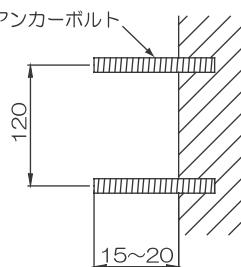
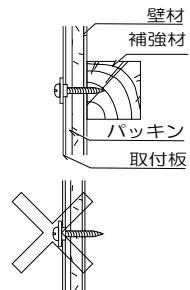
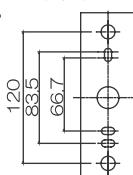
②取付面に凹凸がないか確認してください。

●取付面に凹凸がある場合(タイル面など)は

パッキンと取付面との隙間を防水シールなどで埋めてください。

★防水が不完全な場合、火災・感電・器具の落下事故の原因となります。

■取付位置



取り付け方

△注意

●必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

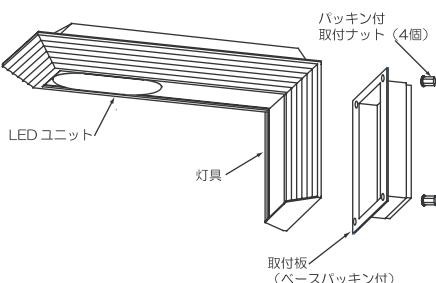
△警告

器具の取り付けは、取扱説明書に従い確実に行ってください。

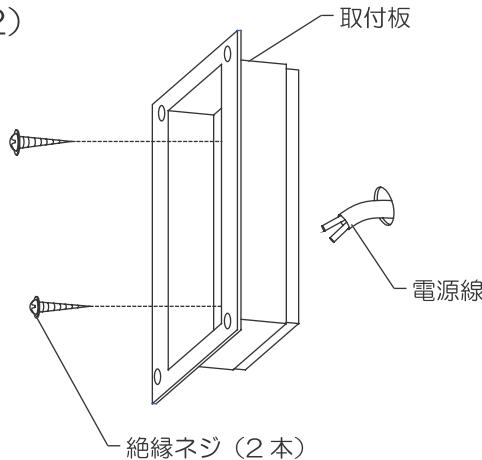
★取り付けに不備があると、器具落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

1. 器具を取り付ける前に

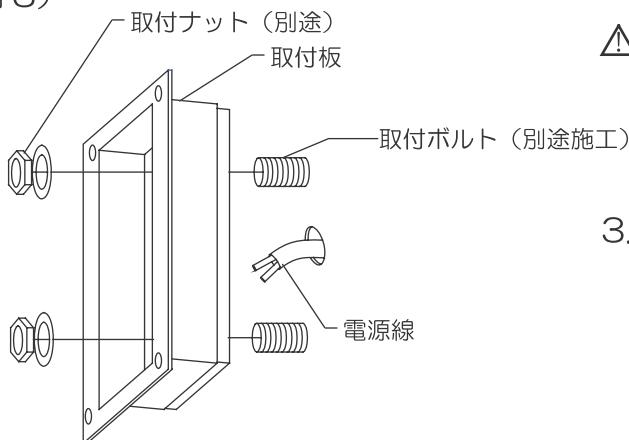
- 器具にセットされている、パッキン付取付ナット(4個)を外し、取付板を取外してください。



(図 2)



(図 3)



2. 取付板を取り付けます。(図 2)

- パッキンと取付板の電源孔から電源線と接地（アース）線を引き出し、パッキンと取付板を取り付けます。

- △ 警 告**
- ①締め付けが弱かったり、隙間があると感電、漏電や器具落下による器具その他の破損やケガの原因となります。
 - ②器具取付面には、フランジ内への雨水進入防止のため、平らな面に必ずパッキンを介して取付をしてください。

ボックスに取り付ける際は、付属の化粧板を、壁面と、取付板の間にセットし、取り付けてください。

ボルト施工の場合(図 3)

- パッキンと取付板の電源孔から電源線と接地（アース）線を引き出し、別途施工の取り付けボルトに取付ナット（別途）でパッキンと取付板を取り付けます。

- △ 警 告**
- ①締め付けが弱かったり、隙間があると感電、漏電や器具落下による器具その他の破損やケガの原因となります。
 - ②器具取付面には、フランジ内への雨水进入防止のため、平らな面に必ずパッキンを介して取付をしてください。

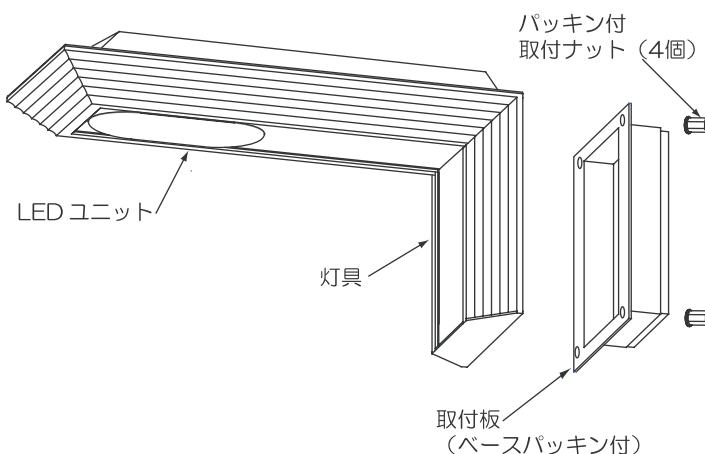
3. 電源線を接続します。

- 電源線を引き出し、被覆をむいて口出し線と接続してください。
 - 裸線が見えないように、自己融着テープで、しっかりと巻きつけた上、絶縁テープを巻いてください。
- ★不良の場合、感電、漏電の原因となります。

4. アース端子を接続します。

- フランジについているアース端子に接続して下さい。
 - 必ずD種（第3種）接地工事を施してください。
- ★不良の場合、感電、漏電の原因となります。

(図 4)



5. 灯具をセットします。(図 4)

- 灯具を取付板にセットし、パッキン付取付ナット（4個）でしっかりと締め付けてください。

- △ 警 告**
- ①灯具と取付板に隙間が出ない様、しっかりと締め付けてください。
 - ②締め付けが弱かったり、隙間があると、感電・漏電や器具落下による器具その他の破損やケガの原因となります。

スイッチ操作

スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。

● お手入れについて

⚠ 注意

● 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

- こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠ 注意

- お手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★ 感電事故の原因となります。
- 濡れた手で触らないでください。
★ 感電事故の原因となります。
- シンナー やベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★ 器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。



■ お手入れのしかた

1. 電源を切ります。
2. 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



■ 光源ユニットの交換

⚠ 注意 ! この器具は、構造上お客様が光源ユニットを交換することができません。
メンテナンスの際は、別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。

■ アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。